

PBeM『VOiCE』第4回リアクション

04-X 夏は幽霊の帆をあげて

●意味がわかると怖いかもしれない話

花音ね、お姉ちゃんのクラスの友達から聞いたことがあるのよ。

夜に、怖い話を百個話すと、本物のお化けが出てくるんですって！

花音ひとりじゃ、百個も話せないけど、みんなで話せばあつという間に足りちゃうと思うの。

ねえ、どうかしら？

せっかくのサマーキャンプだもの、夏だもの、怖い話だつてたまにはいいわよね。

ひとりだと怖いけど、みんながいれば本物のお化けが出てきたって怖くないわ。せっかくだから肝試ししちゃえばいいのよ。だって本物のお化けが出てくるんだから。

「……その夜、誰かが扉を叩く音がしたの」

こんこん

「そう、こんな風に……え？」

こんこん

「はいはい、お嬢さん方。もうそろそろ寝ないと、お肌に悪いわよ」

……結局、話してる途中で部屋に来た、見回りの四季先生が、一番怖かったわ。

次の日、起きたらびっくりしたわ！

本当に幽霊が出たんですって！

それも、ちょっと前に学校で出たのと同じって……自分の夢を答えられないと、あの世に連れて行くっていう、噂になったあの幽霊。

いよいよ本当に肝試しができるんだわ！

……って、花音はそう思ったんだけど、トップバッターの鈴香ちゃんと千鳥ちゃんしか、その幽霊は見れなかったの。

花音たちの番には、別に何にも起こらなかったわ。まあ、たしかに暗くて怖かったんだけど……百物語って迷信だったのかしら？

あーあ、残念。